

夏休み特別貸し出しスタート！7/14(水)～

返却日：8月24日(火) 冊数：1人15冊まで



夏休み中の開館スケジュール

日	月	火	水	木	金	土
			7/28 ○	29 ○	30 ○	31 —
8/1 —	2 ○	3 ○	4 ○	5 ○	6 ○	7 —
8 —	9 ×	10 ×	11 ×	12 ×	13 ×	14 —
15 —	16 ○	17 ○	18 ○	19 ○	20 ○	

図書館は夏休み中も開館しています。部活や自習の合間に立ち寄ってみてください。

◇ 開館時間 ◇

8：30～16：00

※予定に変更がある場合は、図書館前に掲示してお知らせします。

夏休みに本を読もう！

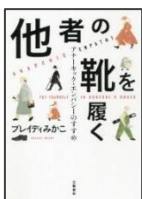
図書館の右側壁面に推薦図書のコナーを設置中です。夏休みは、普段読めない本を手に入るチャンス。ぜひ色々な分野の本に挑戦してみてください。



本の取り扱いに注意を！

「雨で本が濡れてしまった」「本を汚してしまった」というケースが最近増えています。本は紙でできているので、濡れたり汚れたりすると元に戻らず、読めなくなってしまうこともあります。今後利用する人のためにも、図書館から借りた本は責任を持って大切に管理するようお願いいたします。

新着図書 ピックアップ



『他者の靴を履く アナーキック・エンパシーのすすめ』プレイティみかこ／著（文藝春秋）

ベストセラー『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』で反響を呼んだキーワード「エンパシー（意見の異なる相手を理解する知的能力）」について考える。



『菌の声を聴け』

渡邊格・渡邊麻里子／著（ミシマ社）

自然酵母と国産小麦でパンを作る店、「タルマリー」（鳥取県智頭町）。その著者夫婦が語る、「地域循環」をキーワードにした挑戦と実践の記録。

『平成ネット史 永遠のベータ版』

NHK『平成ネット史(仮)』取材班／著（幻冬舎）



Windows95のネット黎明期から、YouTuberの活躍する一億総クリエイター時代へ。平成とともに進化した日本のインターネット史を振り返り、今後のネット社会の行く末を読む。

『琥珀の夏』辻村深月／著（文藝春秋）



子どもたちが親元を離れて閉鎖的な施設で暮らす「ミライの学校」。その跡地から発見された遺体の調査を依頼された弁護士・法子は、少女時代をそこで暮らしたことがあった。物語の進行とともに明かされていく、過去の友情と罪……。辻村深月久々の長編作。



国語科 安治 陽子先生（3年2組 担任）より

『82年生まれ、キム・ジヨン』

チョナムジュ／著 斎藤真理子／訳（筑摩書房、2018年）



30年近く前のことになる。大学を卒業した私は、とある団体に採用され社会人になった。（※教員になる前の職）最初に必死の思いで覚えたことは、A係長：コップは黒のマグカップ、朝と10時は砂糖抜きミルクありのコーヒー、昼食時はほうじ茶、15時は濃い緑茶ということだった。これを課員全てについて覚える。もちろんその飲みものを私がいれて席に配ってまわるのである。執務中に喫煙者が席でタバコをふかすのが当たり前の時代だったので、各人のマイ灰皿を覚えて配る必要もあった。（※私は喫煙しない。）終業時にはコップと灰皿をあつめてまわり、きれいにして帰る。直属の上司からではなく、先輩の女性職員からではあったが、やるべきこととして指示を受けた。本来の業務ではないのだろうが、仕事がまだ十分にできない新人は、これで貢献するのだろうと考えた。

半年後に私より年下の男性の新人が入ってきた時、脳裏をよぎっていた嫌な予感は悲しく的中する。「お茶と灰皿」を私と一緒にやろうとする彼に上司が言ったのだ。「男はそんなことしなくていいよ。」と。《そうか、これは新人だから、ではなく、女だからやっていたのか。やっぱりそうか。》体の中が空洞になったような感じがする。なんだか寒い。でも私は薄く微笑みを浮かべて「お茶と灰皿」を一人続ける。やり過ごす。

その後もやり過ごす日々は続く。「自分で弁当作ってこんと、いい嫁さんになれんでえ」と言われた時も、「若い女の子のいれたお茶はおいしいわあ」と言われた時も、懇親会で「あんたは課長の隣に座ってお酌して」と言われたときも。私は力なく愛想笑いを浮かべることしかできなかった。

そんな私のことが、この小説には書かれている。読みながら涙が出た。やり過ごしてきたことを悔やむ気持ち、次の世代に対して申し訳なく思う気持ち、そして何ものかへの激しい怒り。いろいろ渦巻いてふるえが止まらなかった。しかし、誰かに怒りをぶつきたいのではない。こんな思いをしてきた人がいることを、多くの人に知ってほしいと願う。社会は確実に変わってきた。でもまだ改善されていないことがある。勇気を持って声をあげた当事者を攻撃したり放置したりしないで、一緒に考えてくれたらと願う。それが、誰もが、あり方を決めつけられないで制限されずに生きられる社会への一歩になると思うから。



これまでの「先生のおすすめ本」は、図書館内の特設コーナーに展示中です。気になる先生の推薦図書をチェックしてみよう！



図書館に入ってすぐ右側の書架です



図書館より

チョナムジュの新作
『ミカンの味』も入りました。

新着図書案内やこれまでの図書館ジャーナルは、校内からは西高図書館蔵書検索のページから見られます。学校外からは、鳥取西高公式ホームページ内の「図書館より」のページからご覧ください。

URL https://cmsweb2.torikyo.ed.jp/toriwh/index.php?page_id=43

